



KVASER HYBRID PRO 2XCAN/LIN

EAN 73-30130-01042-0

Kvaser Hybrid Pro 2xCAN/LIN は各チャンネルを CAN、CAN FD、または LIN として個別に割り当てることができる柔軟性の高いデュアルチャンネルPCインターフェースです。「ユニバーサル（万能）インターフェース」として使えるので自動車通信に携わるすべてのエンジニアにとって必須のアイテムとなります。

Kvaser Hybrid Pro 2xCAN/LIN は、CAN FD、サイレントモード、シングルショット、エラーフレーム生成、Kvaser MagiSync自動クロック同期のサポートなどの高度な機能を提供します。プロレベルのデバイスとして、このインターフェースは、Kvaserが提供する無償ソフトCANlib SDK内で提供されるリソースを使用してユーザーが開発したプログラムを実行できます。これらは、CANノードシミュレーションやCANフラッシュなどのさまざまな高度なタスクを実行したり、LIN/CAN間のゲートウェイを作成したりするように設計できます。ユーザーサポートのガイダンスとコード例が提供されます。

KVASER HYBRID PRO 2XCAN/LIN

EAN 73-30130-01042-0

主な特徴

- 2つの個別の9ピンD-SUBを備えたハイブリッド USB CAN/LIN 2チャンネルインターフェイス。
- プログラムにより、ユーザーはHybrid Pro 2xCAN/LINの動作をカスタマイズできます。
- 最大1Mbit/sの高速CAN(ISO 11898-2)と最大20kbit/sのLIN 2.2A (ISO 17987 Part1-7)をサポートします。
- 最大5Mbit/sのCAN FD(ISO 11898-1)をサポートします。
- 1マイクロ秒の精度でタイムスタンプが付けられた、CANチャンネルごとに1秒あたり最大20,000のメッセージを送信できます。
- USB給電。
(LIN にはバスV+リファレンスが必要)
- Kvaser MagiSync – 同じPCIに接続されたMagiSync対応のKvaserインターフェイス間の自動時刻同期。
- ガルバニック絶縁されたCANチャンネル。
- シングルショット機能により、失敗した送信が再試行されないことが保証されます。
- エラーフレームの生成とエラーカウンター。
- LEDライトはデバイスの状態を示します。
- J1939、CANopen、NMEA 2000、およびDeviceNetと完全に互換性があります。
- すべてのKvaserハードウェアに共通のフリー ソフトウェアAPIであるKvaser CANlibおよびKvaser LINlibが付属しており、チャンネルを直感的かつ迅速に設定できます。
- -40°C ~ 85°C の拡張動作温度範囲。



技術仕様

CAN/LIN チャンネル	2 (個別にCAN、LINの設定可能)
CAN トランシーバ	1051T/E (ISO 11898-2準拠)
CAN ビットレート	50 kbit/s ~ 1 Mbit/s
CAN FD ビットレート	最大5 Mbit/s
CAN/LIN コントローラ	Kvaser CAN/LIN IP用FPGA
LIN トランシーバ	TJA1021T/20
LIN ビットレート	1 ~ 20 kbit/s
タイムスタンプ分解能	1 μs
CAN 最大メッセージ通信レート	各チャンネル 20,000 msg/s
エラーフレーム検出	対応
エラーフレーム生成	対応
サイレントモード	対応
Kvaser MagiSync	対応
PC インターフェイス	USB 2.0
消費電流	最大 280mA
ハードウェア構成方法	ソフトウェアで構成 (プラグ & プレイ)
ソフトウェア要求	Windows 7 以降のOS (他のOS対応については、サポートまでお問い合わせください。)
寸法	50 x 170 x 20mm
重量	170 g
動作温度範囲	-40°C to +85°C
保存温度範囲	-40°C to +85°C
相対湿度	0% ~ 85% (結露なきこと)

保証期間

2年保証。詳細については、Kvaser ホームページをご確認ください。

サポート

全製品無料サポートは下記アドレスまでお問い合わせください。

support_jp@accuratetechnologies.com

ソフトウェア

ドキュメント、ソフトウェア、およびドライバーは、下記サイトから無料でダウンロードできます。

www.kvaser.com/downloads

Kvaser CANlib SDK

無料のリソースで、Kvaser CANインターフェイス用のソフトウェアを開発するために必要なものがすべて含まれています。C、C++、C#、Delphi、Java、Python、Visual Basic及びKvaser tスクリプトで記述された完全なドキュメントと多くのプログラムサンプルが含まれています。

すべての Kvaser CANインターフェイス ボードは、共通のソフトウェアAPI を共有しています。1つのインターフェイスタイプ用に作成されたプログラムは、他のインターフェイスタイプでも変更なしで実行できます。

J2534 アプリケーションプログラミングインターフェイスが利用可能です。

RP1210A アプリケーションプログラミングインターフェイスを利用できます。

Windows HTML ヘルプおよび Adobe Acrobat 形式のオンライン ドキュメント。

詳細なお問い合わせは下記販売店までご連絡ください。

問い合わせ先

ATI Japan
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-9-7
フロンティア新宿タワーオフィス 304
Email:sales_jp@accuratetechnologies.com
TEL:03-6868-4298 Fax:03-4363-7100